

## 防災行政無線デジタル化更新事業実施状況を確認

### 総務厚生委員会

9月16日に総務厚生委員会を開催し、住民生活部防災安全課から「令和2年度の防災行政無線デジタル化」の進捗状況について説明を受けた後、質疑を行いました。

#### 主な質疑

**Q 計画どおりに進捗しているか。**

A 発令判断支援システムが若干遅れているが、屋外スピーカーの更改は12月に工事が完了し、戸別受信機の設置は、電波の使用許可が遅れたが、10月後半には電波確認が行える予定である。

**Q 庁舎内に立ち入れない場合の町内放送の対応は。**

A 庁舎が孤立化した場合、図書館に設置している非常用親局装置を使用し、町内放送を行います。

**Q 情報伝達ツールとして、電話・FAXとあるがその詳細は。**

A 電話による情報の伝達は、電話登録者にお知らせします。なお、FAXによる情報の伝達は、障害者等の利用に限定しております。

**Q 戸別受信機はいつでも申請可能か。負担額は変わるのか**

A NECの機器を利用しているが、その機器を使用している間は、供給可能である。戸別受信機の設置は、基金（災害支援金）を充てており、基金がなくなるまでは自己負担額を変える予定はない。

最終的に町側へ政策提言を行うことを目標として委員会を運営していきます。



▲所管する事業が適正に計画どおり実施されているか確認しました。

## 学校の新しい生活様式について

### 文教委員会

9月15日に文教委員会を開催し、コロナ禍における学校の問題点や教育現場について、教育部から報告を受けた後、質疑を行いました。

#### 主な報告内容

○授業における課題や問題点

主体的な学習における「対話」に一部制約がある。

○学校行事に関して

運動会などが中止となり、達成感がない。

修学旅行の目的地変更。

○教室の消毒や換気について

清掃時間に合わせて1日1回消毒を実施。多くの人が手に触れる部分（手すり・ドアノブ・手洗いカラン）を中心に行う。



▲コロナ禍における学校の問題点等について確認しました。

#### 主な質疑

**Q. 修学旅行について、今後どのように考えているのか。**

A. 今まで目的地は関西や関東が多かったが、小学校は山口方面、中学校は九州・四国方面で検討。何を目的に行うのか、それに適した旅行先はどこなのか。子どもたちの安全を第一に考えた修学旅行の実施について、教育委員会と学校で連携を取っている。

コロナ禍の中、学校現場での「新しい生活様式」に注視し、必要な対策について検討していきます。

## 追跡

# ありやあ どうなったんかいの？

### No. 3

第三弾は「ため池災害復旧の進捗」と「ため池廃止事業」です。

本町には、200か所以上のため池があります。平成30年7月豪雨では、ため池に起因する人的被害はなかったものの、8か所のため池が被害を受けました。

被害を受けたため池のうち、令和元年度までに6か所の復旧工事が終わり、残り2か所が今年度末までに完了予定となっています。

また、県が実施主体となる「ため池廃止事業」の活用については、ため池管理者・水利権者などの関係者から36件の廃止要望があり、令和2年度現在、11件が採択を受けています。

平成30年7月豪雨による復旧工事が優先され、ため池廃止工事には時間を要していますが、今後も継続して県に対する要望が行われます。

#### 平成30年7月豪雨復旧状況（呉地大池）



ため池廃止事業は、廃止するため池に土を埋めるのではなく、水を抜いた上で堤防を掘削し、貯水機能をなくす工事です。

◀ため池廃止工事イメージ

### 今月の表紙

私たち東熊野スポーツ少年団（空手道）は、今年6月から新規登録団体として熊野第二小学校体育館で毎週火・木曜日午後7時～9時まで幼年から高校生で活動をしています。

空手道には形と組手という2つの競技がありますが、技術の向上と共に礼節を重んじる事を大切にしながら練習に励んでいます。

また、年に数回BBQ・花火・餅つき等の親睦の場を設け和気あいあいと活動しております。

空手道を通して心身共に強くしてみませんか？

代表指導者 細川 正剛  
電話 080-5614-3751

